

製品名: WDHD1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19874**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	126kDa

抗原情報

遺伝子名	WDHD1
別名	WDHD1; AND1; WD repeat and HMG-box DNA-binding protein 1; Acidic nucleoplasmic DNA-binding protein 1; And-1
遺伝子 ID	11169.0
SwissProt ID	O75717
免疫原	抗血清はヒト WDHD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 721-770

背景

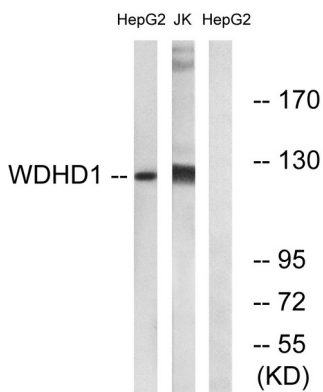
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、複数の N 末端 WD40 ドメインと C 末端高移動度グループ (HMG) ボックスを含

む。WD40 ドメインは様々な真核生物タンパク質に存在し、シグナル伝達、pre-mRNA プロセッシング、細胞骨格構築におけるアダプター / 調節モジュールとして機能する可能性がある。HMG ボックスは、クロマチン構築、転写、複製に關与する多くの真核生物タンパク質に存在している。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2008 年 7 月];注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要がある。機能: 高親和性で DNA に結合する。タンパク質間相互作用にも關与している可能性がある。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。類似性: DNA 結合ドメインである HMG ボックスを 1 つ含む。類似性: WD リピートを 7 つ含む。

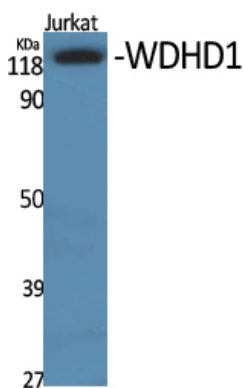
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、DNA 合成、クロマチン結合タンパク質、DNA/RNA 結合

画像データ



WDHD1 抗体を用いた Jurkat 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



WDHD1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。